

令和4年度地下水質調査結果について

水質汚濁防止法に基づき、地下水の水質汚濁の状況について調査を行っております。

令和4年度の調査結果は以下のとおりです。

1 調査概要

種類	調査地点数	調査地点名	測定項目
①概況調査	10	東原町、荒楯町、八日町、北山形	※下記参照
		松波、南原町、宮町、旅籠町、霞城町、清住町	1,1,1-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン
②継続監視調査	4	銅町	1,1,1-トリクロロエタン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン
		新開	ふっ素・ほう素
		漆山	砒素
		飯田西	砒素・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素・ふっ素・ほう素
③独自調査	3	飯塚町 2地点	1,1-ジクロロエチレン 1,2-ジクロロエチレン トリクロロエチレン テトラクロロエチレン
		鉄砲町	全シアン
④汚染井戸周辺地区調査	—	—	
⑤その他調査	1	旅籠町	PFOS 及び PFOA

※測定項目

カドミウム・全シアン・鉛・六価クロム・砒素・総水銀・ポリ塩化ビフェニル(PCB)・ジクロロメタン・四塩化炭素・塩化ビニルモノマー・1,2-ジクロロエタン・1,1-ジクロロエチレン・1,2-ジクロロエチレン・1,1,1-トリクロロエタン・1,1,2-トリクロロエタン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・1,3-ジクロロプロペン・チウラム・シマジン・チオベンカルブ・ベンゼン・セレン・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素・ふっ素・ほう素・1,4-ジオキサン

2 調査結果

①概況調査

すべての地点で環境基準値を満たしていた。

②継続監視調査

調査4地点のうち、2地点で環境基準値を超過した。直近の超過状況は以下の表のとおり。

継続監視 調査地点	項目	測定値 (mg/l)					環境基準 (mg/l)
		R4	R3	R2	R1	H30	
銅町	テトラクロエチレン	0.0009	0.0008	0.0027	0.014	0.0056	0.01
新開	ふっ素	0.98	0.95	0.99	1.1	1.2	0.8
漆山	砒素	0.007	0.022	0.012	0.006	0.004	0.01
飯田西	砒素	0.029	0.022	0.020	0.022	0.019	0.01
	ふっ素	1.9	1.9	1.1	1.8	1.8	0.8
	ほう素	2.8	2.4	3.1	2.9	2.8	1.0

※環境基準超過に対する対応について

ふっ素、砒素、ほう素の汚染の原因は自然由来と推定されることから、継続して水質の監視を行っていく。

③独自調査

すべての地点で環境基準値を満たしていた。

④汚染井戸周辺地区調査

令和4年度は新たに環境基準を超過した地点が無かったため、汚染井戸周辺地区調査の実施無し。

⑤その他調査

環境基準の設定はないが、有機フッ素化合物の一部である PFOS 及び PFOA について、市内の井戸1箇所において調査を行った。結果は65 ng/l であり、暫定で設けられている指針値50 ng/l を超過した。

今後周辺の井戸調査を行い、分布を確認していく。